

概要

7 月 6 日に実施した中間発表会では、各班が現在の研究の進捗についてゼミ内で発表しました。当日は、質問が活発に飛び交う充実した時間となりました。また、自分たちの研究についてももう一度考えるきっかけにもなり、すべての班がこの先あるポスター発表会へ向けて前向きに取り組む姿勢が見られました。



発表会の感想

今回は各ゼミの副ゼミ長から発表会の感想をいただきました。ゼミによっては、前回の発表会よりもかなり質が上がったと感じたり、課題が見つかったように思えたりしたようです。

「物理ゼミ」

ほとんどの発表者が聞き手の顔を見て話せていたが、もう少し抑揚のある話し方だと良いと思った。去年よりも質問の数が増えており、活発で有意義であった。返答の質も良く、研究報告会としてのレベルが上がっていた。

「化学ゼミ」

各々の班が着実に実験などの活動を進めていたため、これからの見通しを持ちながら発表を行うことが出来た。一方で、パワーポイントの文章において、有効数字や文の量などの改善点が見られた。先生から良い評価をもらえたため、継続しながら細かい点を改善していきたい。



「生物ゼミ」

3 月に行われたテーマ設定発表会の時に比べ、積極的に質問することができた。先生や先輩方からもアドバイスをいただいた。研究の前提に不確定要素がみられたり、実験の見通しの甘さを指摘されたりした班もあったが、多くの班が質問やアドバイスを得てこれからの方向性を見出すことが出来た。

「地学ゼミ」

人数が少ないながらも、意見の出しやすい雰囲気の中様々な意見を交わすことが出来た。担当者から実験内容や定義、何のデータなのかなどを明確にするべきというアドバイスをいただいた。難しい用語や計算式を理解し、かつ聴衆にも分かるような説明を加えていきたい。

「数学ゼミ」

研究がまとまっていて発表の質も高くなっていた。各班それぞれ多くのアドバイスをいただいた。研究内容が難しいものほど質疑の量が減っていたので、数学ゼミ以外の人も分かるように資料作りなどの工夫をしていきたい。



「情報ゼミ」

メモを取りつつ発表を熱心に聞いていた。他のゼミと合同だったので、他のゼミの人から発表内容についての質問やアドバイスが挙がった。ゼミ担当者からはパワーポイントの書き方の指摘があった。

「国語ゼミ」

終始落ち着いていて和やかな雰囲気だった。サブタイトルの由来を問うものや予備知識を用いるものなど、鋭い質問がみられ、充実した質疑応答だった。学術研究Ⅲ履修者の先輩からも助言をいただいた。

「地歴ゼミ」

半数以上の班が見やすいパワーポイントを作成していた。次の機会にはより多くの班にクオリティの高いものを作ってほしい。原稿を見ずに発表している班が少なかったのが課題となった。質問の数が班によってばらつきが出たので、全体的に多くできるようになるとよい。教育実習生の方からも貴重なアドバイスをいただいた。

「公民ゼミ」

私たちは「元気な公民ゼミ」という目標のもと活動している。発表の際に質問を出しやすい雰囲気を作ったり、互いにアドバイスをして高め合ったりするという狙いがある。活発な意見交換をしていた74回生の影響を受け、初めての75回生のみの発表だったが、質問が予想以上に多く出ていた。川原先生からは今回の意見を大学での学びにつなげられるように頑張してほしいとのことだった。



「英語ゼミ」

2年生からの質問の少なさが目立った。スマホを見ながら話す人、完全に下を向いて話す人が見られたのも見直すべき点だと思った。学術研究Ⅲを履修している3年生からは自分たちが考えつかないような視点からの言葉をいただいたり、TAの方からは論述の言い回しについて助言を受けたりした。先生方からのアドバイスには「グローバル社会だから英語が関係するという前提はどうなのか」などがあり、各班それぞれが課題を見つけられた発表会であったと感じた。

「保体ゼミ」

研究が進んでいる班が多く、考察におけるデータ分析までしっかりされていた。研究内容には少しずつだが穴が見られた。実験はより効率的かつ確実にを行うために前段階をしっかり進めた上で進めるべきではないかと考えた。アンケート項目の選択理由についての質問もあり、傾聴していると思った。

「音楽ゼミ」

レジュメの内容を自分の言葉で伝えられるようにしたり、見た人が短時間で概要を捉えられるようにレジュメの情報を整理したりしようと思った。疑問が上がりそうな点にはあらかじめ補足するなど内容を知らない人にも配慮したい。情報ゼミと合同だったため、他の班の進捗状況や研究内容が参考になった。研究の意義や着地点を検討し、興味を持ってもらえるよう、アドバイスをふまえて進めようと思う。

「家庭ゼミ」

基本は原稿を見ずに発表できていた。作成した布ぞうりを見せる場面があったが、遠くからは少しわかりづらいように感じた。パワーポイントに布ぞうりの写真を載せて、実物と一緒に見せるほうがわかりやすいと思った。摩擦係数についての質問をいただいたが、質問者の求めている答えと回答者の答えにずれがあった。そのため、摩擦係数の説明を詳しく、かつ分かりやすくしようと思う。



「災害研究ゼミ」

質問の数が多く、みんな興味をもって他の班の発表を聞いているのがわかった。すべての班に改善点が多く見つかって、夏休み後にどこまで仕上がっていくか気になる。本番でいい発表をしようという意識が見られ、各々が意欲をかきたてられたよい時間になった。

編集後記

中間発表会は互いに刺激しあういい機会になったように感じる。写真や各ゼミの感想を見る限り、どの班も熱心に実験に取り組んでいて、今回見つけた改善すべき点や足りなかった点を次回の発表会までにはなくしてくるだろう、そう思わせる会であった。次はどのような素晴らしい研究が聞けるのか、今から楽しみにせずにはいられない。